

平成28年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考(課題・総括等)	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者:2万人	参加数:15,165名 回収ごみ量:19.26t		地域力推進室
	2 山科区エコアクションNo.1宣言事業の実施	次世代への環境啓発を促進するため、子ども達が遊びながら学べる啓発イベントを開催する。	平成28年度から、子ども達に最も人気の高い「かえっこバザール」を、より集客力の大きい「区民ふれあいまつり」(11月23日開催)の催しのひとつとして実施した。		地域力推進室
	3 「エコ学区」ステップアップ事業	「京エコライフプログラム(地域性を活かした学区独自のエコ活動を支援する公募型事業)」や省エネナビ(電気消費量計測機器)の貸出しによる「DO YOU KYOTO?クレジット認証制度」への応募及び地域の担い手セミナーへの全学区参加を支援する。	各学区の防災訓練会場にブースを出展し、省エネルギー等の啓発を行った。		地域力推進室 環境政策局
	4 笑顔と花いっぱいプロジェクト	五条通に、四季折々の花を植えたプランターを設置する。	平成28年11月に五条通に1,800個のプランターを設置	平成29年度は新十条通にも拡大する。	地域力推進室
	5 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数目標:6,000株	区役所前、東部文化会館前、JR山科駅前の3箇所に6,133株の花苗を植栽した。		地域力推進室
	6 山科区民花の回廊募金の実施	東山自然緑地の公園にヤマザクラを植樹する。	募金については実施したが、植樹場所である東山自然緑地が整備工事に入ったため、植樹についてはいったん保留とし、平成29年度に改めて植樹場所を選定の上、植樹を実施することとした。		地域力推進室
2 まちの魅力・観光を磨く	1 子どもたちに対する文化財啓発事業	子どもたちへの山科の歴史・文化理解を促進する。	子どもを対象としたイベントとして、古代体験教室(平成28年8月8日)を開催した。 参加者数:57名	実施により、子どもの歴史・文化理解の促進が図られた。	地域力推進室
	2 京都・やまなし観光ウィーク	山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施する。	例年通り、10月～12月を「観光ウィーク」として設定し、イベントや観光の見どころを掲載した冊子、ポスターを制作し、地下鉄駅等に配架、掲出した。 冊子:10,000部 B1、B3ポスター:430部 また、平成28年度は新たな取組として、旅行会社の商品企画担当者を招いて実際に山科の魅力を視察してもらった「ファミトリップ」を平成28年12月に実施した。		地域力推進室
	3 ふれあい「やまなし」区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流を促進する。	・「区民ギャラリー」 延べ入場者数:約600名 出展作品:199点 ・「区民芸能フェア」 延べ入場者数:約3,500名 出演者:535名		地域力推進室
	4 ふれあい「やまなし」区民史跡の探訪(山科の魅力探訪)の実施	ふれあい「やまなし」区民史跡の探訪(山科の魅力探訪)の実施	参加数:30名	平成28年度までふれあい事業として実施していたが、地域団体の方々が主体となって、山科区の魅力を広げるための様々な活動をされていることから、ふれあいやまなし実行委員会としての役割を終え、平成29年度からはこれらの団体に京都市から助成することとする。	地域力推進室
	5 笑顔と花いっぱいプロジェクト ※再掲	五条通に、四季折々の花を植えたプランターを設置する。	平成28年11月に五条通に1,800個のプランターを設置	平成29年度は新十条通にも拡大する。	地域力推進室
	6 「大好き!やまなし魅力発信プラットフォーム」の運営	「大好き!やまなし魅力発信プラットフォーム」の運営 京都橋大学と区役所との共同運営により、今後も新規参加者及び情報の発信件数を拡大していく。	参加者数:107名(対前年度+5名) 発信件数:535件(対前年度+81件)	参加者数と発信件数の拡大のため、共同運営を行っている京都橋大学と連携し、魅力のある情報発信に努めていく。	地域力推進室
	7 山科区民向けアプリの開発	平成29年度の運用を目指し、開発する。	行政、自治連合会をはじめとする地域の各種団体、NPO、サークル等が提供する山科区に関する地域情報を発信する地域密着型スマートフォン・アプリ「やまなしプラス」を開発した。 ※山科区スマートフォンアプリ運営協議会へ補助金を交付	平成29年5月から運用を開始した。今後、コンテンツの充実を図っていく。	地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	今年度から行われる配水管及び舗装工事後、早期にバスが導入できるよう小金塚自治連合会及び関係機関と連携しながら取り組みを進める。	バス導入予定道路の里道指定が平成28年5月18日に完了し、バス運行に向けて自治連合会や関係機関等との協議を開始した。		地域力推進室
	2 山科区の交通問題の改善に向けた取組	・バス待ち環境の改善 ・鏡山循環系統バスの利便性向上 ・モビリティ・マネジメントの拡大による地域の公共交通の利便性向上	・バス待ち環境改善の取組として、平成28年12月に小野駅(南行)のバス停に上屋を設置するなどのリニューアルを行った。 ・鏡山循環系統バスの増便に向けて、自治連合会が中心となりモビリティマネジメントに取り組むとともに、交通事業者等との協議を継続した。	鏡山循環バスの1便増を目指し、さらなる利用者増を目的とした啓発ビラ配布や餅つき大会での啓発活動を実施している。これらの鏡山学区のMM活動については、平成29年9月に国土交通省近畿運輸局から「交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受賞した。	地域力推進室、 都市計画局、 交通局 (京阪バス)
	3 山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成	バス・鉄道のダイヤ等の改訂に対応したマップを作成し、区役所・各駅等にマップを配架する。	年度途中にバスの路線変更やダイヤ改正が行われることが多くなり、制作してもすぐに使えなくなるため、平成28年度から廃止した。		地域力推進室
1 山科区健康寿命延伸プロジェクトやまなし新聞屋さん見守りネットワーク事業の実施	山科区の強みである「地域力」によるネットワークに加え、新聞販売所によるネットワークを重層的に配備することにより区内の高齢者支援ネットワークの一層の充実・強化を図る。	<平成28年4月～平成29年3月までの実績> 総通報数:15件(13件電話) 内訳:119通報で救命に至ったもの1件 体調不良の状況を早期発見し、介護保険サービスへ繋いだもの1件。	通報を受け、情報把握したものの新聞販売所への報告内容は、個人情報の壁がある。	健康長寿推進課	
	2 山科区健康寿命延伸プロジェクト「心」の健康寿命延伸体験事業の実施	「清水焼&地産野菜料理」体験教室(仮称)及び50歳からの清水焼体験教室(仮称)を開催する。	・「清水焼絵付け体験教室」 平成28年7月26日開催 参加数:20組参加(37組応募あり。抽選の結果) ・「地産野菜料理体験教室」 平成28年8月9日と8月18日に分けて開催 参加者数:2日合わせて20組参加 ・「ふれる・感じる・いやす～50歳からの清水焼製作と茶室で味わう抹茶体験～」 平成28年9月7日:清水焼体験教室 平成28年10月31日:茶室で抹茶賞味 参加者数:ともに9人(申込10人内1人辞退)	清水焼絵付け体験教室は、参加希望者が多く、抽選を行ったが、抹茶体験教室の希望者が少なく、中央老人福祉センターや山科老人福祉センター等に案内を再度行った。	健康長寿推進課

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる

3	やまなこ誕生おめでとう事業の実施	5学区を追加して9学区で実施する。	平成28年7月から、陵ヶ岡、大宅、大塚、音羽川、西野の5学区を追加し、9学区で実施。 ・訪問件数:181件	地域の主任児童委員等が訪問することにより、子育てサロンの参加に繋がっている。地域の身近な相談先として主任児童委員等が浸透するよう、事業周知の工夫や訪問件数増に努める。 平成29年度は全13学区で実施する。	子どもはぐくみ室
4	やまなこ子育て情報発信事業の実施	情報誌の内容を充実させたい。引き続き、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	「やまなこ誕生おめでとう事業」の訪問時や、1歳6箇月児健診等で、「やまなこおめでとうガイド」を配布。	情報誌の内容を充実させたい。引き続き、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	子どもはぐくみ室
5	やまなこひろばの運営	より身近な場所で開催できるよう取組を進め、区内5箇所の公園で実施する。	5月:区内5箇所の公園で開催 ・参加者数:親 103人、子 110人 10~11月:区内3箇所(公園、東部文化会館、区役所)で開催 ・参加者数:親 90人、子 152人	参加者にとってより身近な参加しやすい場所で開催できるよう、各小学校区単位、あるいは近隣小学校区合同での取組を進める。 地域の子育て支援機関での実施・運営ができるよう支援する。	子どもはぐくみ室
6	山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会の活動を通じて、平成28年度は2箇所の増設を目指す。	2箇所の増設を行い、9学区13箇所で実施した。	担い手の育成及び運営内容の充実を行うとともに、更なる利用者増を図るため、フリースペースを紹介する冊子を作成し、周知に努める。	健康長寿推進課
7	健康づくりサポーター(キャットハンズ)とウォーキングの実施	山科区民を対象としたウォーキングを年3回開催する。	年3回実施予定であったが、雨天の為1回中止となる。(定員150人/3回) 参加者数:97人	平成29年度は4回実施予定。	健康長寿推進課
8	介護保険事業の適正かつ円滑な実施	引き続き窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	市民しんぶん区版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務の実施に努めた。	引き続き窓口、電話等でのわかりやすく丁寧な説明と適正な資格認定・給付事務に努める。	健康長寿推進課
9	福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明、適正な資格認定・給付事務に努める。	市民しんぶん区版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務の実施に努めた。	引き続き窓口、電話等でのわかりやすく丁寧な説明と適正な資格認定・給付事務に努める。	健康長寿推進課
10	地域福祉推進委員会活動の充実	会議等に積極的に参加する中で、区社協と協働し、地域福祉の向上を目指す。	本委員会(2回)、作業部会(4回)、事務局会議(適宜)、「山科区の地域福祉を考える集い」1回を開催。	京(みやこ)・地域福祉推進指針2014に基づき、関係各会議に参加し、区社協との連携強化に努める。	健康長寿推進課
11	「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	「代表者会議」、「実務者会議」、「個別ケース検討会議」の実施により顔の見える関係づくりを大切にし、児童虐待防止に努める。	代表者会議: 1回 実務者会議: 4回 個別ケース検討会議:37回	関係機関との日常的な連携協力関係の維持・強化に努める。	子どもはぐくみ室
12	やまなこ子育て支援連絡会の充実	「代表者会議」を年1回以上開催し、幹事会を中心に研修や事例検討会、障がい児長期休み支援事業(あそびの広場)等を実施する。	会議開催:代表者会議 1回、幹事会 1回 研修会:1回「子どもの貧困」あそびの広場:6回	地域の幅広い子育て問題に対応しているよう、部会設置の見直しを図った。今後、幹事会を中心に、地域のニーズに応じた研修会等を実施していく。	子どもはぐくみ室
13	子育て支援基幹ステーションの活動を支援	基幹ステーション会議を年1回以上開催し、地域の子育て支援状況を把握し、基幹ステーションの活動を支援する。	会議開催:1回(全14機関参加)	各ステーションの活動状況や課題等についての意見交換ができ、地域の中での活動や連携が広がった。	子どもはぐくみ室
14	地域包括支援センター(高齢サポート)の活動を支援	地域包括支援センターが主催する日常生活圏レベルの「地域ケア会議」開催を支援する。また、「山科区地域包括支援センター運営協議会」を年3回開催し、地域課題解決に向けた事業化の検討提案をする。	・5箇所全ての地域包括支援センターが日常生活圏レベルの地域ケア会議を年2回開催できるよう支援した。 ・区主催の地域包括支援センター運営協議会の開催前に、地域包括支援センター長会議を開催し、各センターが抱える課題を区の課題として取り上げ、区の課題解決に向けた取組を行った。	地域包括支援センター1箇所については、日常生活圏レベルの地域ケア会議の開催が1回に留まった。今後、全センターでの2回開催実現に向け、地域での理解を得られるよう支援及び協力を行う。	健康長寿推進課
15	東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議や運営会議等に積極的に参加する。	運営会議等:12回、支援会議:5回 児童部会:10回、触法部会:21回 全体会議:1回、地域懇談会:1回 ※各部会の回数には、研修会を含む。	東部圏域での更なる連携体制の構築に努めるとともに、障害当事者やその家族の高齢化の問題などに対応した支援の実施に当たって、地域包括支援センターとの連携が必要となってきた。	障害保健福祉課
16	国民健康保険事業等の適正で円滑な運営	わかりやすく信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施する。	窓口や電話で制度、手続きの丁寧な説明に努め、様々な取組により徴収率の向上と適正な資格賦課に努めた。徴収率は91.10%と前年比+0.21ptとの結果となったが、高額困難案件の集中的な取組での前進ができた。	徴収率向上のため、更なる制度周知を図る。	保険年金課
17	訪問相談指導、乳幼児健康診査の実施、促進	乳幼児の健やかな育成を図るため、乳幼児健康診査の受診率向上の取組や、訪問相談等を実施する。	乳幼児健康診査: ・4箇月児 48回実施 999人受診 受診率96.0% ・8箇月児 45回実施 999人受診 受診率95.5% ・1歳6箇月児 36回実施 971人受診 受診率97.3% ・3歳児 36回実施 929人受診 受診率95.4% 訪問相談実施数:1408件	高い受診率を引き続き維持できるよう、妊娠中からの切れ目のない支援を推進し、健診が子育て支援の場となるよう取り組む。また、未受診者への対応の充実を図る。	子どもはぐくみ室
18	相談対応やパパ・ママ教室などの子育て支援の充実	パパ・ママ教室や親子の健康づくり講座の定期的な実施する。	・プレパパママ教室 18回開催、参加者数:208人 ・親子の健康づくり講座 19回開催、参加者数:親187人、子194人 ・ベビーマッサージ教室 12回開催、参加者数:親37人、子37人	必要な人に利用してもらいやすいよう、教室の充実を図る。	子どもはぐくみ室
19	こころのふれあいネットワークの実施	セミナー・シンポジウムを開催する。	運営会議等に積極的に参加するとともに、各部会を中心とした研修会等の企画に積極的に取り組み、東部圏域での連携体制づくりを行った。 ・運営会議 12回、支援会議 5回 ・児童部会 10回、触法部会 21回 ・全体会議 1回、地域懇談会 1回 ※各部会の回数には、研修会を含む。	東部圏域での更なる連携体制の構築に努めるとともに、障害当事者やその家族の高齢化の問題などに対応した支援の実施に当たって、地域包括支援センターとの連携が必要となってきた。	子どもはぐくみ室
1	山科区制40周年記念事業	記念事業(イベント等)参加者数目標:3万人	・笑顔と花いっぱいプロジェクト(五条道に1,800個のプランター設置) ・山科区水花見大会(平成28年4月3日)(来場者数:約3,000名) ・やまなこサマーコンサート(平成28年8月11日)(来場者数:260名) ・山科区制40周年記念切手(発行部数:2,000シート) ・山科区制40周年記念式典(平成28年10月1日)(出席者数:約500名) ・光のアートフェスタin山科(平成28年10月29日)(来場者数:約30,000名) ・神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフデュオ・リサイタル(平成28年11月2日)(来場者数 488名) ・山科赤ちゃん大使・山科赤ちゃんフェア(平成28年11月5日)(来場者数:約1,000名) ・山科検定(平成28年12月18日)(受検者数:437名) ・「さくら」はるか”植樹式”(12月10日)(出席者数:8名)	当該事業は区民の皆様が山科区への誇りや愛着を、より深く育むことに寄与した。	地域力推進室
2	世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動	防犯カメラの大幅な増設等、平成27年度に策定した山科区版運動プログラムに沿った取組を実施する。	64台の防犯カメラの設置に対して助成を行った。	防犯カメラの大幅な増設を行った。	地域力推進室

5 地域のつながりを強める

3	山科“きずな”支援事業	支援の充実を図るため、助成金の交付のほか、まちづくり講座、成果報告会を実施する。	区内で活動する団体に、以下のとおり支援を行った。 ・申請事業数:41件 ・補助金交付決定事業数:35件 ・交付確定額:6,455千円	(平成28年度) 資金面のみならず、まちづくりサポート講座の開催や活動報告会を実施するなど、自主的なまちづくり活動へつなげる取組を実施した。 (平成29年度) 新たに中間活動報告会や備品(スクリーン、プロジェクター)貸与を実施するなど、区民の自主的なまちづくり活動へつなげる取組の充実を図る。	地域力推進室
4	やまなGOGOカフェの運営	まちづくりに関心のある区民同士が出会い交流を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。	平成28年度から京都橋大学が運営等に参画した。参加数:140名(延べ人数)計4回開催。	引き続き、区民が出会い、行動のきっかけとなる場として、開催していく。	地域力推進室
5	笑顔と花いっぱいプロジェクト※再掲	五条通に、四季折々の花を植えたプランターを設置する。	平成28年11月に五条通に1,800個のプランターを設置	平成29年度は新十条通にも拡大する。	地域力推進室
6	地域の防災力アッププロジェクト	地域との連携・協働により、避難所運営マニュアルの実効性を高めるための取組を行い、防災力の更なる向上を推進する。	自主防災会等による避難所運営訓練を6学区で実施した。 また、避難所運営に際して必要となるブルーシートやヘルメット等の物品を各学区の求めに応じ配布した。		地域力推進室
7	不良な生活環境を解消するための取組	関係機関や地域と連携して実態調査を進めるとともに、要支援者が抱える課題や悩みを聴取し、要支援者に寄り添った支援を行う。	実態調査を行い、要支援者に対して、継続的な支援を行っている。 <取組状況> ごみ屋敷と判定した件数:23件 ごみ屋敷ではないと判定した件数:12件 継続調査件数:2件 解消:15件 ※平成27年度、平成28年度の累計	関係機関や地域と連携し、要支援者の課題に対し、適切な支援へつなげることができた案件もあった。引き続き、関係機関と協議しながら対応を進める。	地域力推進室
8	生活安全条例に基づく施策の推進	学区の安心安全ネット継続応援事業を全13学区で実施する。	自治連合会等が実施する防犯パトロール活動等に必要物品の経費について、1学区当たり25,000円を11学区に助成した。		地域力推進室 文化市民局
9	獣害対策チームの運営	各学区の獣害対策チームと連携を図り、生活被害に遭われた方への獣害防除物品の貸出し継続、追い払い物品の提供、獣害防除勉強会を開催する。	イノシシ用の柵を新たに6件貸出し、継続分と合わせて延べ31件貸し出した。		地域力推進室 文化市民局 産業観光局
10	「第2期山科区基本計画」の推進	「山科区民まちづくり会議」、「やまなGOGOカフェ」の運営等により、区民、地域団体、事業者、大学等と連携・協働し、計画を更に推進する。	第2期山科区基本計画の推進のため、山科区民まちづくり会議(平成28年9月5日、平成29年2月16日)、やまなGOGOカフェ(平成28年5月8日、12月4日、平成29年3月4日)を開催した。	区民アンケート(平成28年10月実施)、客観指標の評価を通して、計画の更なる推進を図る。	地域力推進室
11	ふれあい“やまな”区民まつりの実施	より多くの団体や、多様な年齢層の方とともに、環境にやさしいイベントを実施する。	参加者数:約2万人(平成27年度1万5千人) 出展ブース数:42ブース(平成27年度 42ブース) ステージ出演団体数:13団体(平成27年度11団体)		地域力推進室
12	区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図る。	各所属において、“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図る。	窓口職場、外勤職場においては、全員参加のミーティング・研修を実施することは困難であるが、グループごとに複数回実施するなどの工夫を行い、多くの職員が参加できるように努める。	全課共通
13	適正な選挙事務の執行	投票事務の適正な執行、投票率の向上を図る。	平成28年7月執行の参議院議員通常選挙において、投票事務の効率化を図り、適正に投票事務を執行できた。 なお、投票率は市全体の投票率が対前回(平成25年参院選)比△1.16ptとなる中、対前回比△1.00ptの47.14%となった。		地域力推進室
13	個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。また、課内会議、研修等により更なるサービス向上を図る。	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。 また、課内会議、研修等により更なるサービス向上を図った。	今後も円滑なサービスの提供に努める。	市民窓口課
14	食の安心・安全の確保と区民への的確な情報提供	食品監視を徹底するとともに、市民しんぶん区版及び区ホームページでの的確な情報提供を行う。また、産官学の連携を強めながら啓発事業を実現する。	平成28年度京都市食品衛生監視指導計画に基づき、飲食店営業施設に対し延べ1,071回、販売及び製造施設に対し延べ758回、届出営業施設に対し延べ274回の監視指導を行った。また、年間を通じ23回、661人に対し、食品衛生講習会を実施した。 大学及び食品事業者と連携し、区民や学生に向けて啓発イベントを実施することで、産官学の連携並びに、区民の食品衛生に対する関心を高めた。	食品に係る苦情及び事故は年間を通じて散見されており、今後も継続して監視指導の強化及び産官学の連携を通じて衛生意識の普及に努める。	医療衛生センター
15	動物愛護とペット飼育マナーの向上	「京都市動物愛護行動計画」に基づき、所有者不明猫対策として、まちなこ活動支援事業を推進させるとともに、必要に応じ、地域における啓発を実施する。	ペットの飼育マナーや動物愛護について飼い主等へ指導、啓発を621件実施し、まちなこ活動支援事業として新規活動地域5件の登録及びまちなこ18頭に避妊去勢手術を実施した。 また、災害時における避難所でのペットの管理体制について、山科区総合防災訓練並びに小野学区総合防災訓練で啓発活動を実施した。	ペット等に関する苦情相談に対し、指導及び啓発を継続して実施する。所有者不明猫対策として、まちなこ活動が可能な地域には今後も支援事業を展開する。	医療衛生センター